



2026年4月22日

各位

会社名 クオンタムソリューションズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 Francis Bing Rong Zhou  
(コード番号 2338 東証スタンダード)  
問合せ先 管理部 寺田キャサリン  
TEL 03-4579-4059 (代表)

## 連結子会社における新規資金の借入に関するお知らせ

当社の連結子会社である GPT Pals Studio Limited (以下「GPT 社」といいます。) は、2026 年 4 月 13 日付で暗号資産の構造化商品を提供するシンガポールの金融サービス企業との間で GPT 社が保有する暗号資産を担保とした資金調達に係る条件確認書を締結するとともに、約 570 万米ドル (1 米ドル 159 円換算で約 906 百万円) の新規借入を実行することを決定し、4 月 13 日同日にいずれも実施いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 1. 借入の経緯

当社では、既存借入金の返済に関する対応について協議を行い、利息負担の軽減および財務構造の改善の観点から、GPT 社の Integrated Asset Management (Asia) Limited (以下「IAM」といいます。) からの借入について、返済期日の 2026 年 5 月 1 日を待たず、可能な限り早期に返済する方向で検討しておりました。

また、当社は、2026 年 2 月 6 日付の取締役会決議 (書面決議) において、暗号資産を活用した資金調達を含む財務運営方針について決議しておりました。さらに、2026 年 3 月 23 日開催の取締役会における報告事項においても、GPT 社による既存借入金返済に向けた対応について、当該方針の枠組みのもとでの進捗状況の報告を受けておりました。

そのうえで、GPT 社では、IAM からの既存借入金の返済に向けて、財務構造の最適化および利息負担の軽減の観点から、複数の資金調達手段について検討および評価を行ってまいりました。

その一環として、GPT 社では 2026 年 3 月頃に、暗号資産の構造化商品を提供するシンガポールの金融サービス企業と接触を開始し、その後、継続的に協議を行ってまいりました。

その過程において、GPT 社は 2026 年 4 月 13 日、GPT 社が保有する暗号資産を担保とした構造化商品取引に係る具体的条件について合意し、同日付で条件確認書を締結するとともに、同日、当該金融サービス企業より約 570 万米ドル (1 米ドル 159 円換算で約 906 百万円) の資金の供与を受け、本件新規借入を実行いたしました。

その後、当社は、2026 年 4 月 17 日開催の取締役会において、当該新規借入の内容を確認したうえで、2026 年 4 月 20 日付開示資料「連結子会社による資金の借入の返済の完了に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、GPT 社は、当該新規借入で調達した資金を原資として、IAM より年利 3% にて借入を行っていた 10,000,000 米ドルのうち、未返済であった元本 5,000,000 米ドル、2026 年 2 月 7 日から 2026 年 4 月 17 日までの利息 29,178 米ドルおよび取引手数料 450,000 米ドルの合計 5,479,178 米ドル (1 米ドル 159 円換算で約 871 百万円) を 2026 年 4 月 17 日に返済いたしました。

## 2. 借入の目的

本件新規借入は、GPT 社における既存借入金の返済に充当することを目的として実施したものであります。

また、本件新規借入により、財務構造の改善および利息負担の軽減を図ることを目的としております。

## 3. 借入の概要

- ・借入金額：約 570 万米ドル（1 米ドル 159 円換算で約 906 百万円）
- ・借入日：2026 年 4 月 13 日
- ・借入期間：1 年間（予定）
- ・借入先：暗号資産の構造化商品を提供するシンガポールの金融サービス企業
- ・担保：ETH (3,050ETH)

なお、本件新規借入金のうち 5,479,178 米ドル（1 米ドル 159 円換算で約 871 百万円）は前述のとおり既存借入金の返済に充当しており、残額は GPT 社名義の法定通貨建て口座にて保有しております。

## 4. 借入の方法

本件新規借入は、暗号資産 (ETH) を担保とした資金調達の枠組みに基づき実施されたものであります。

なお、本件新規借入については、通常金銭消費貸借契約における借入利息は発生いたしません。

また、当該取引の具体的な条件につきましては、契約締結先が非上場会社であること等も踏まえ、一般的な市場慣行に照らし、開示内容は合理的な範囲にとどめております。

## 5. 新規借入先の概要

(1) 名称	相手先の意向により非開示 (暗号資産の構造化商品を提供するシンガポールの金融サービス企業)
(2) 所在地	シンガポール
(3) 代表者の役職・氏名	相手先の意向により非開示
(4) 事業内容	デジタル資産の構造化商品取引および流動性提供業務
(5) 資本金	100 シンガポールドル（1 シンガポールドル 125 円換算で 12,500 円）
(6) 設立年月日	2022 年 1 月 12 日
(7) 大株主及び持株比率	非開示（非上場会社であり、当社において確認可能な情報を保有していないため）
(8) 当社との関係	(資本関係) 該当事項はありません。
	(人的関係) 該当事項はありません。
	(取引関係) 該当事項はありません。
(9) 最近 3 年間の経営成績及び財政状態（単位：千円）	当該会社は非上場会社であり、財務情報の開示義務を負っておらず、また開示の同意も得られていないため、当社は当該情報を保有しておりません。

## 6. 今後の見通し

本件借入による 2027 年 2 月期の連結業績に与える影響は軽微であります。財務基盤の改善および資金繰りの安定化に資するものと考えております。

以 上